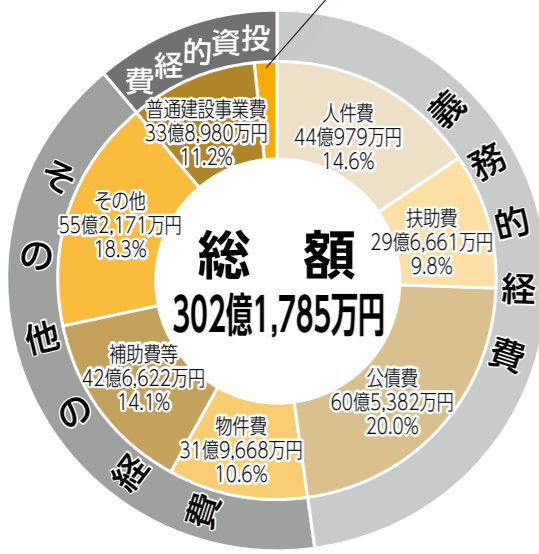


# 普通会計

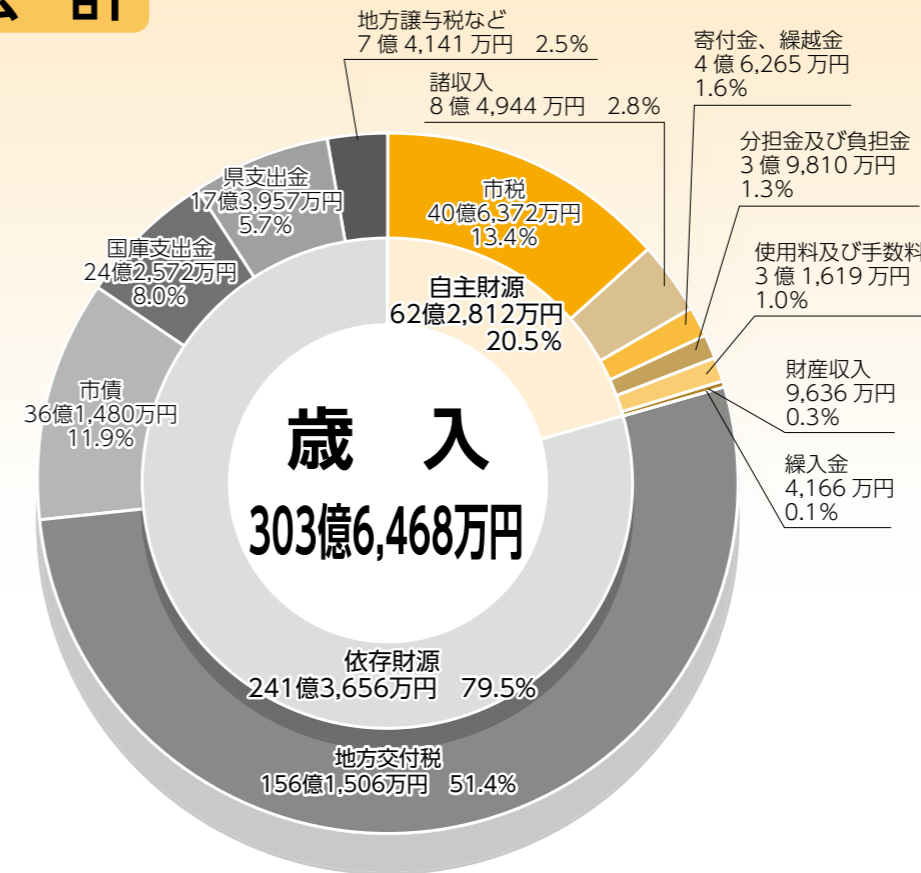
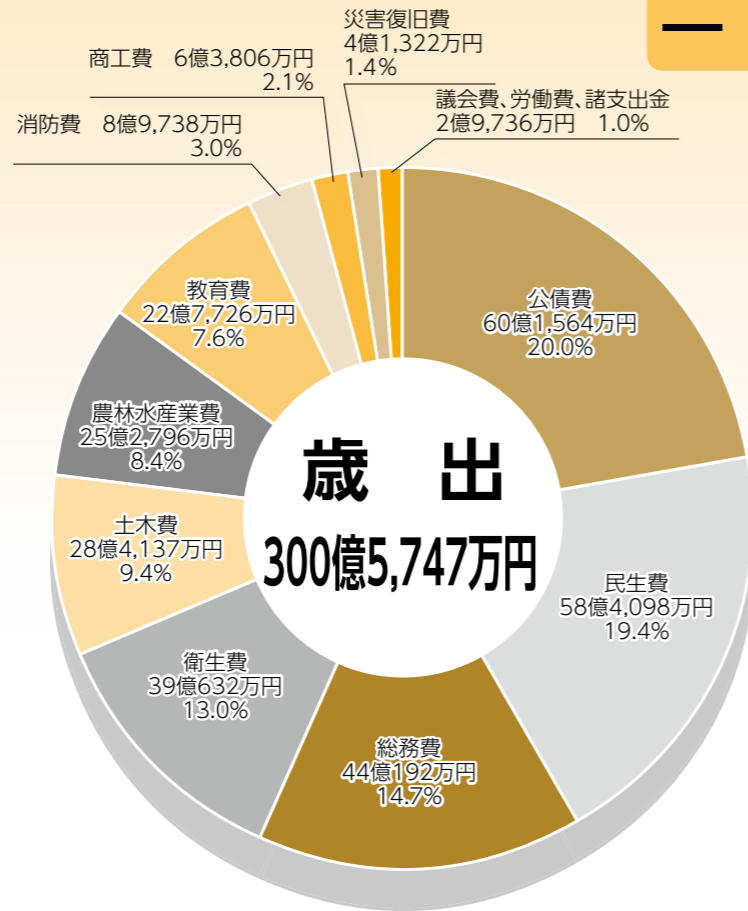
## 性質別決算額

普通会計とは、一般会計と特別会計のうち公営事業会計（上・下水道等の公営事業会計及び国民健康保険事業特別会計等）以外の会計を1つの会計としてまとめたもの



積立金現在高 (平成25年度末) 107億8,676万円  
地方債現在高 (平成25年度末) 364億3,666万円

# 一般会計



一般会計決算では、歳入決算額が303億6,468万円（対前年度3.4%増）、歳出決算額が300億5,747万円（同3.9%増）で、歳入歳出差引残額が3億721万円となりました。なお、翌年度に繰り越すべき財源は2,790万円であり、実質収支は2億7,930万円となりました。

平成25年度の決算が9月議会で認定されましたので、お知らせします

# 決算報告

平成25年度

決算の問い合わせは 財政課 ☎ 0854-40-1023

新庁舎建設事業	3億1,823万円	雲南市・飯南町事務組合負担金 (清掃事業・火葬場事業)	7億4,406万円
公共施設解体撤去事業	3,110万円	バイオマス関連整備事業	8,753万円
雲南市・飯南町事務組合負担金 (CATV事業)	1億86万円	農業用河川工作物応急対策事業	1億243万円
松笠交流センター整備事業	1億3,629万円	商業振興補助金	5,069万円
地域づくり活動等交付金事業	2億3,898万円	道路維持・新設改良事業	6億3,047万円
公共交通対策事業	2億4,225万円	国道整備関連事業	2億166万円
介護保険事業 (負担金)	7億177万円	小学校施設耐震化事業	1億3,284万円
特別養護老人ホーム補助金	1億6,944万円	菅谷たたら山内保存修理事業	1億5,120万円
子ども医療費助成事業	1億639万円	災害復旧事業	4億1,322万円
加茂子育て支援センター整備事業	8,049万円	など	
病院事業会計補助金	10億2,823万円		

項目	数値	説明	
財政力指数	0.247 (0.245)	財政基盤の強さを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いことになります。	
経常収支比率	84.1% (87.6%)	毎年経常的に支払わなければならない経費の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低いほど財政運営に弾力性があり、高いほど財政運営が硬直化している状況を表しています。	
地方債現在高比率	184.3% (197.1%)	財政規模に対する地方債（長期に渡り返済する借金）の残高を表したもので、低いほど財政運営が安定しています。	
健全化判断比率	実質赤字比率	該当なし (該当なし)	一般会計等（普通会計）を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、12.51%以上で財政健全化団体に、20%以上で財政再生団体となります。
	連結実質赤字比率	該当なし (該当なし)	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、17.51%以上で財政健全化団体に、30%以上で財政再生団体となります。
比率	実質公債費比率	14.6% (16.0%)	公債費の水準を測る指標です。一般会計等（普通会計）が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、従来から用いられてきた「起債制限比率」を見直し、実態をより正確に把握するため、公営企業会計に対する繰出金のうち元利償還金相当分などが要素に加えられています。この比率が25%以上になると財政健全化団体に、35%以上で財政再生団体となります。
	将来負担比率	83.4% (107.1%)	地方債の残高をはじめ一般会計等（普通会計）が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。350%以上で財政健全化団体となります。
資金不足比率	該当なし (該当なし)	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各公営企業会計毎に算定することとされており、20%以上で経営健全化団体となり、財政健全化団体と同じように、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。	

下段（ ）は平成24年度

## 特別会計

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
国民健康保険事業 (事業勘定)		45億9,311万円	45億1,788万円	7,523万円
		1億3,572万円	1億3,440万円	132万円
後期高齢者医療事業		10億4,037万円	10億3,245万円	792万円
農業労働災害共済事業		501万円	497万円	4万円
簡易水道事業		4億4,718万円	4億4,586万円	132万円
生活排水処理事業		24億7,143万円	24億6,811万円	332万円
財産区		495万円	470万円	25万円
土地区画整理事業		1億2,029万円	1億1,987万円	42万円
ダム対策事業		1億3,584万円	1億3,565万円	19万円
清嵐荘事業		4,343万円	4,336万円	7万円

◎ は一般会計と合わせて普通会計に含まれる特別会計。

## 監査委員の審査意見書から

市税の収入率は97.99%で山陰12市の中で最も高く、横断的な滞納整理体制の強化が図られ、それによる成果が着実に現れてきている。今後も財源の確保と負担の公平を期するため、未収金の解消に向けて、引き続き関係部局間の連携を図り、総力を挙げて取り組まれることを望む。

財政健全化法に基づく財政指標である実質公債費比率、将来負担比率については、公債費負担適正化計画に基づく市債発行の抑制及び繰上償還の実施により、昨年度に引き続き数値の改善が見られたところであるが、今後もさらに比率の低減に努め、財政の弾力化を図っていく必要がある。

「財政非常事態宣言」が解除された後も、引き続き公債費の抑制や繰上償還の実施、経常経費の削減に努力され、平成25年度末の基金残高が百億を超えるなど財政状況は改善されつつある。しかし、平成27年度からの普通交付税の一本化算定による交付税の減額（一部復元の見込み）、新庁舎建設や市立病院改築事業、そして少子・高齢化などの社会環境変化等により市の財政をとりまく課題は山積しており、今後も財政健全化に向けて一層の努力を図られたい。

一昨年度完成した道の駅「たたらば壱番地」は雲南市の南の玄関口として、観光客の誘致や周辺地域の経済活性化に大きな役割を果たしている。中国横断自動車道尾道松江線の年度内の全線開通により、今後さらに交流人口の拡大が見込まれ、国道54号沿線の活性化を含め、これらを生かした今後の雲南市の観光や商業などの産業振興、定住対策等に期待する。